

福島第一原子力発電所の状況

平成 26 年 1 月 16 日
東京電力株式会社

< 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (1/16 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力*1	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 2.0 m ³ /h	16.9 °C	107.0 kPa abs	A系： 0.06 vol%
		給水系：約 2.5 m ³ /h			B系： 0.08 vol%
2号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 2.4 m ³ /h	25.5 °C	6.27 kPa g	A系： 0.04 vol%
		給水系：約 2.0 m ³ /h			B系： 0.00 vol%
3号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 0.0 m ³ /h	24.0 °C	0.22 kPa g	A系： 0.09 vol%
		給水系：約 5.5 m ³ /h			B系： 0.07 vol%

*1：絶対圧(kPa abs) = ゲージ圧(kPa g) + 大気圧(標準大気圧 101.3 kPa)

【3号機原子炉建屋5階中央部近傍(機器貯蔵プール側)での湯気発生状況】

- ・H26/1/16 7:53 頃 湯気をカメラにて確認。(気象データ [1/16 7:50 時点]：気温-1.1°C、湿度 86.0%)
※ プラント状況、モニタリングポスト指示値等に異常なし。

< 2. 使用済燃料プールの状況 > (1/16 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	10.0 °C
2号機	循環冷却システム	運転中	9.7 °C
3号機	循環冷却システム	運転中	7.9 °C
4号機	循環冷却システム	運転中	15.1 °C

※各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウエルへヒドラジンの注入を適宜実施。

- ・H25/11/18 15:18～ 4号機使用済燃料プールから燃料を取り出す作業を実施中。なお、同作業は平成 26 年末頃まで行う予定。

< 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元 →	移送先	移送状況
2号機	2号機タービン建屋	→ 3号機タービン建屋	1/12 9:55～ 移送実施中
3号機	3号機タービン建屋	→ 集中廃棄物処理施設(雑固体廃棄物減容処理建屋 [高温焼却炉建屋])	12/17 16:00 ～ 移送実施中

< 4. 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (1/16 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	除染装置	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種除去設備 (ALPS)
運転 状況	停止中	運転中*1	停止中	水バランスを みて断続運転	水バランスを みて断続運転	ホット試験中*2

*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。

*2 当面は、3系列のうち2系列による運転を実施することで2系列運転の稼働率を向上させていくこととし、準備が整い次第、3系列の同時運転を実施予定。

- ・B系：平成 26 年 1 月下旬頃(予定)に腐食対策有効性確認のため、処理運転を停止予定。
- ・H23/6/8～ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。

< 5. その他 >

- ・ H26/1/15～ 1～4号機タービン建屋内にある、震災発生直後に敷設した滞留水移送ホースについて、タービン建屋内のエリア確保ならびに通行の安全性の向上、不要なホースからの漏えいリスクの低減、雰囲気線量低減による被ばく低減の観点から、1号機タービン建屋内より撤去作業を実施。
- ・ H25/11/23 3:57頃 1～3号機の原子炉圧力容器および原子炉格納容器へ窒素を封入している窒素ガス分離装置2台（A・B）が運転中のところ、「ドライヤ異常過電流またはドライヤ高圧カット」の警報が発生し、窒素ガス分離装置1台（A）が停止。もう1台の窒素ガス分離装置（B）は運転を継続しており、原子炉格納容器および原子炉圧力容器内への窒素供給は継続中。また、プラントデータ（原子炉格納容器内水素濃度・原子炉格納容器内温度等）、モニタリングポストの値に有意な変動は確認されていない。待機中の窒素ガス分離装置（C）については、同日17:03に起動し、同日17:12に窒素ガス分離装置2台（B・C）による窒素供給を開始。起動後の運転状態に異常はない。

その後、窒素ガス分離装置（A）の停止要因（電氣的要因、機械的的要因）について調査を実施し、ドライヤ用コンタクタの動作不良が原因と判明したことから、コンタクタを新品へ交換しドライヤファン単体動作試験を実施して良好であることを確認。本試運転時にメインファンが起動しない事象が発生し、ファンインバータに何らかの異常があることが確認されたことからファンインバータの交換を実施。H26/1/16、試運転を行い異常のないことを確認。なお、現在、窒素ガス分離装置はB、C運転中でAは待機状態。

【H4エリアタンク等からの水の漏えい関連】

<トピックス>

- ・ H25/12/10 10:10～ 汚染水拡散の防止策として、H4エリア周辺に設置したウェルポイントから地下水の汲み上げを再開。

<タンクエリアパトロール実績（1/15）>

- ・ 高線量当量率箇所（ $\beta + \gamma$ 線（ $70 \mu\text{m}$ 線量当量率））は確認されず。
- ・ 堰床部に雨水が溜まった箇所については、雨水による遮へい効果により線量当量率は低い状態となっている。
- ・ 1/12に確認したG4タンクエリア堰内水の漏えいを除き、目視点検によりタンク全数に漏えい等がないこと（漏えい確認ができない堰内溜まり水内を除く）を確認。
- ・ 汚染水タンク水位計による常時監視で、タンク水位に異常がないことを確認。

<H4エリア周辺のサンプリング実績>

- ・ 前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

<福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績>

- ・ 前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【タービン建屋東側の地下水調査／対策工事の実施状況】

<トピックス>

- ・ 1, 2号機取水口間のウェルポイントおよび集水ピット（南）地下水から立坑Cおよび2号機タービン建屋への移送量は1/16 0:00時点で約 $7,181\text{m}^3$ *集水ピット（南）およびウェルポイントの総量

<地下水観測孔サンプリング実績>

- ・ 前回採取した測定結果と比較して有意な変動なし。

<移送関係>

- ・ 2, 3号機東側に設置したウェルポイント（バキュームによる強制的な排水設備）からの地下水汲み上げおよび2号機タービン建屋への移送を適宜実施中。
- ・ H25/12/11～ 1, 2号機間護岸エリア地下水観測孔No. 0-3-2でトリチウムが検出されていることから、当該観測孔からの地下水の汲み上げを試験的に適宜実施中。

【1～4号機サブドレン観測井の状況】

- ・ 今回新たに設置した2号機原子炉建屋（山側）のサブドレン（N8）のガンマ核種、全ベータ、トリチウム（1/14採取）の分析を実施。

[サブドレンN8：1/14採取分]

- ・ セシウム134 : 1.3 Bq/L
- ・ セシウム137 : 2.7 Bq/L
- ・ 全ベータ : 検出限界値未満（検出限界値：11 Bq/L）
- ・ トリチウム : 55 Bq/L

【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

<トピックス>

- H25/7/1～ 拡散防止対策およびサンプリングは継続実施中。
- H25/10/3～ 地下貯水槽 No. 1 の汚染範囲調査開始。
- H25/10/23～ 地下貯水槽 No. 6 において浮き上がり対策を実施中。
- H25/11/15～ 地下貯水槽 No. 5 において浮き上がり対策を実施中。
- H25/11/19～ 地下貯水槽 No. 1 において浮き上がり対策を実施中。
- H25/11/28～ 地下貯水槽 No. 3 において浮き上がり対策を実施中。
- H25/12/7～ 地下貯水槽 No. 2 において浮き上がり対策を実施中。
- H25/12/16～ 地下貯水槽 No. 7 において浮き上がり対策を実施中。

<地下貯水槽サンプリング実績>

- 前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

以 上